

Fukushima with a SMILE!

つながる東北



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

Mar. 2020
Vol. 15

福島イノベーション・コースト構想

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害により失われた浜通り地域等の産業基盤を新たに創出する国家プロジェクトです。

廃炉、ロボット、エネルギー、農林水産等の重点分野において、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいます。



世界に類を見ない一大研究開発拠点
福島ロボットテストフィールド 2020年春
全面開所予定

陸・海・空のフィールドロボットの開発実証拠点です。
インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しています。

ホームページURL:
<https://www.fipo.or.jp/robot/>



災害対応ロボットの実証試験を行うための**国内唯一**の試験場です。



① 市街地フィールド

住宅、ビル、信号・標識付の交差点のある市街地を再現しています。

車両や瓦礫、点検対象物などを置き、ロボットによる情報収集・調査、障害物除去、人員の捜索・救助、点検に関する試験や訓練が行えます。

コンクリートや木材の瓦礫を置いた走行試験、建物の壁・床のブリーチング訓練の他、道路部分を使った自動走行の試験にも活用できます。



② 水没市街地フィールド

1階部分が一部冠水した建物と全部冠水した建物を設置し、水害で冠水した市街地を再現しています。

水上・水中ロボットや無人航空機による情報収集・調査、捜索・救助等の試験や訓練が行えます。

点検対象や障害物を水中に沈めたロボット試験のほか、有人ヘリやボートによる救助訓練にも使用できます。



③ 瓦礫・土砂崩落フィールド

泥濘地、土砂傾斜地(15度・30度)、陥没・亀裂、土砂・倒木などがある道路を設置しており、災害時の道路遮断現場、土砂崩落現場を再現しています。

ロボットや無人化施工重機による状況確認、捜索・救助、復旧作業等の試験や訓練が行えます。道路上に自由に設置できる各種障害物も用意しています。走行耐久試験用の周回路もあります。



一般社団法人

ふくしま総合災害対応訓練機構

福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会防災部会メンバー企業が平成28年度、平成29年度の2年間にわたり、経済産業省より人間系の防災事業の実現可能性等に関する補助事業を受託し、補助事業受託企業を中心に実施した2年間の調査研究活動を踏まえ、2019年4月1日、南相馬市に一般社団法人として設立した組織です。

RTFを最大限に活用し、人間系とロボット系が協調・協働した災害対応訓練の提供を主たる事業に据えております。具体的なイメージは、日本防災デザイン株式会社（正会員）の訓練動画をご覧ください。

YouTube URL: <https://www.youtube.com/watch?v=TFUMpaiEQKo>



福島ロボットテストフィールド | 活用事例



総務省消防庁のドローン操縦訓練
(2020年1月)

RTFの①市街地フィールド、③瓦礫・土砂崩落フィールドにおいて、全国の消防局や地元消防本部の職員を対象に、ドローンスペシャリストを養成するための操縦訓練を実施しました。



福島県による消防訓練
(2020年2月)

トンネル内において車両複数台による多重衝突事故が発生したとの想定の下、④試験用トンネル等を活用して、傷病者救出訓練、車両火災消火訓練等を実施しました。

お問い合わせ先:

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
福島ロボットテストフィールド

〒975-0036 福島県南相馬市原町区萱浜新赤沼83番
TEL: 0244-25-2473 FAX: 0244-25-2479
URL: <https://www.fipo.or.jp/robot/>